

# 小泉八雲再発見シンポジウム — 出雲・松江の旅 —



小泉八雲の歩いた道、それをたどる今、一番大切にしたいのは、「皆さんと出会えたことで、私の人生はいつそう幸せになりました。」という八雲の言葉です。

明治23年(1890)8月松江にきた小泉八雲は、わずか1年半の滞在の中で、日本の旅の中で唯一松江・出雲・隠岐諸島を『古事記』片手に訪ね歩き、その後神国しまねを世界に紹介しました。古来伝わる出雲の神話・伝説、「知られざる日本の面影」をあらためて考えてみませんか。



## 平成31年3月9日(土) 13時30分~16時30分

- 会場 大社文化プレイスうらら館ごえんホール(定員200名) 出雲市大社町杵築南(大社大鳥居付近)
- 発表者
 

① 小泉八雲記念館館長	小泉 凡氏 「八雲と民俗学」
② 古代史研究者	関 和彦氏 「八雲と風土記世界」
③ 民話・わらべ歌研究者	酒井董美氏 「八雲の怪談」

【主催】 島根半島四十二浦巡り再発見研究会

【後援】 公益財団法人 いづも財団 島根県観光振興課 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会 神社ガールズ研究会

参加申込 参加無料 事前申込を受付けます。  
お問い合わせ・申込先 eメール・FAXで申込をお願いします。  
島根半島四十二浦巡り再発見研究会事務局(木幡) TEL 090-4572-0641 FAX 0852-21-9942  
e-メール kowata189sky@yc4.so-net.ne.jp HP <http://42ura.jp>の「お問い合わせ」から申込可

小泉八雲再発見シンポジウム聴講申込書(うらら館ごえんホール)研究会 FAX 0852-21-9942

氏名

住所〒

連絡先TEL